2026 年度（後期）　岐阜協立大学大学院

履修証明プログラム

第 15 期

トヨタ生産方式とカイゼンリーダー養成プログラム

募集要項

ともに立ち、向かう
岐阜協立大学
GIFU KYORITSU UNIVERSITY

1. プログラムの名称

トヨタ生産方式とカイゼンリーダー養成プログラム

2. プログラムの趣旨

国内外の環境が劇的に変化するなか、日本は人口減少にともなう労働力不足や「人生 100 年時代」での多様な労働力の活用など、あらためて「生産性改革」が喫緊の課題となっています。従業員の生活充実のためにも働き方改革のニーズは高まっていますが、仕事そのものの見直しなしに労働時間を短縮するだけでは、企業活動として受け入れられがたく、働き方改革は掛け声倒れになりやすい状況にあります。

本プログラムは、ものづくりをはじめ、物流やサービス業にいたるさまざまな現場を管理する人材を対象として、トヨタ生産方式による生産革新活動を実践する専門職として「カイゼンリーダー」を位置づけ、生産性改革活動を整備・推進する人材として育成することを目的としています。作業改善の実績豊富な自動車産業の知見を、製造業全般や物流、サービス産業の現場に広め、作業カイゼン・スキルを身に着けた人材が多方面に活躍することで、働き方改革の推進と企業活動の効率化を同時に推進でき、労働力人口が減少していく日本社会の活力維持、高揚に寄与することが期待されます。

3. 履修証明プログラムとは

社会人向けに作られているプログラムであり、このプログラムで学べば、その分野で活躍するために必要な知識や技術が体系的に身につきます。

学校教育法に基づいているプログラムなので、受講後は履歴書に書くことができます。またプログラム受講の証明書である「履修証明書」が交付されます。

4. 募集人員　　20 名

5. 受講対象者

製造業・物流業・サービス業などに所属する、おもに現場を担当する管理監督者

※高等学校卒業以上であること

6. 修得可能な知識・技能・能力

トヨタ生産方式に関するカイゼンの知識

トヨタ生産方式をベースとしたカイゼン実践力

現場における課題発見力・課題解決力

カイゼン・マインド

プレゼンテーション能力

7. 受講期間・プログラム総時間数

2026 年 10 月 27 日～2027 年 3 月 19 日　・　総時間数 141 時間

8. 修了要件

以下の 3 つの要件を満たした修了者には、学校教育法に基づく「履修証明書」を交付します。

① 全科目を下記の時間以上受講し、各科目の成績が合格であること。

チームビルディング	（授業時間 3 時間）	→ 3 時間
ケーススタディー	（授業時間 15 時間）	→ 15 時間
カイゼン実習	（授業時間 32 時間）	→ 24 時間以上
トヨタ生産方式　基礎	（授業時間 43 時間）	→ 34 時間以上
課題研究	（授業時間 48 時間）	→ 48 時間
	総授業時間 141 時間	→ 124 時間以上

② 最終セッションにおいて『課題研究』で得られたカイゼン成果の発表ができること

③ 最終セッションにおいて『トヨタ生産方式　基礎』の筆記試験に合格すること

9. 教育課程

カリキュラム・シラバスをご参照ください。（7～12 ページ）

10. 出願書類

申込フォームより必要事項をご記入ください。

※出願期間中のみ申し込みをキャンセルすることができます。
キャンセルされる場合は岐阜協立大学教務課までご連絡ください。

【申込フォーム】

＜URL＞　https://forms.cloud.microsoft/r/n0f0bCMZbA

＜QR コード＞



11. 出願期限

2026 年 9 月 25 日（金）

12. 受講場所

コースにより受講場所が異なります。詳しくは 4～6 ページのスケジュールをご確認ください。

13. 受講料およびテキスト代

受講料　270,000 円（非課税／振込み手数料別）

テキスト代　①「トヨタ生産方式によるカイゼンリーダー
～シン・カイゼンが育む地域経済社会～」
竹内治彦・山田直志共著　(1,200 円/消費税別)

②「トヨタ生産方式によるカイゼンリーダー養成講座」
山田直志著　(2,500 円/消費税別)

③「KAIZEN LEADERS～トヨタ生産方式の現場から～」
山田直志・近藤衣里加共著　(2,800 円/消費税別)

※本プログラム内で上記の書籍を使用します。第 1 セッション内にてご請求先をお尋ねいたしますので予めご了承ください。なお本書は第 1 セッションにて配布いたします。

14. 選考方法および受講許可

・選考方法　書類選考により選考します。

・受講者には請求書をお送りします。受講開始１か月後までに受講料の納入を必ず済ませてください。

・受講開始後に申込をキャンセルされたとしても受講料の納入は必ず必要です。受講場所・日時などを予め確認してお申し込みください。

・提出された書類および一度納入された受講料は一切返還しません。

15. 個人情報の取り扱いについて

受講申込書に記載された個人情報は、「学校法人大垣総合学園個人情報保護規程」に基づき厳重に管理し、本学以外の第三者への提供は一切行いません。

16. その他

本プログラムは、厚生労働省の「専門実践教育訓練」講座に指定されています。

教育訓練施設名	岐阜協立大学大学院
教育訓練講座名	トヨタ生産方式とカイゼンリーダー養成プログラム
指定番号	2112001-2220011-3
指定期間	2025 年 10 月 1 日～2028 年 9 月 30 日

（個人でお申込みの場合）

・教育訓練給付制度「専門実践教育訓練」の支給申請手続は、受講開始日の１ケ月前までに住所地のハローワークへ行う必要があります。詳細はハローワークへお問い合わせください。

（法人でお申込みの場合）

・本プログラムは厚生労働省「人材開発支援助成金」対象プログラムです。支給申請手続は、受講開始日の１ケ月前までに行う必要があります。助成金の詳細は厚生労働省のホームページで「人材開発支援助成金のご案内」をご参照いただくか、所轄のハローワークまたは助成金センターにお問い合わせください。

※賃金助成の対象は訓練期間中の所定労働時間に限り、本プログラム総時間数 141 時間の全てが対象とはなりません。また、一部のテキストについても対象外となりますのでご了承下さい。

17. お問い合わせ先

岐阜協立大学　教務課　　TEL：0584-77-3516　　E-mail：kyoumu@gku.ac.jp

※Web サイトは「岐阜協立大学　職業実践力育成プログラム（BP）」で検索してください



第 15 期「トヨタ生産方式とカイゼンリーダー養成プログラム」スケジュール

岐阜・西濃コース

実施場所

10 月 27 日（火）　第 1 セッション(1 日目)		岐阜協立大学北方キャンパス （岐阜県大垣市北方町 5-50）
9:00～12:00	チームビルディング	
13:00～18:00	トヨタ生産方式　基礎(1)	
10 月 28 日（水）　第 1 セッション(2 日目)		西濃化成株式会社 （岐阜県揖斐郡池田町粕ヶ原 276）
8:00～13:00	ケーススタディー(1)	
14:00～18:00	ケーススタディー(2)	

11 月 5 日（木）　第 2 セッション(1 日目)		西濃化成株式会社 （岐阜県揖斐郡池田町粕ヶ原 276）
8:00～17:00	カイゼン実習(1)　※昼休憩 1 時間あり	
11 月 6 日（金）　第 2 セッション(2 日目)		
8:00～18:00	トヨタ生産方式　基礎(2)　※昼休憩 1 時間あり	

12 月 3 日（木）　第 3 セッション(1 日目)		田中工業株式会社 （岐阜県揖斐郡揖斐川町 黒田岩井杜 451-3）
8:00～17:00	カイゼン実習(2)　※昼休憩 1 時間あり	
12 月 4 日（金）　第 3 セッション(2 日目)		
8:00～18:00	トヨタ生産方式　基礎(3)　※昼休憩 1 時間あり	

1 月 7 日（木）　第 4 セッション(1 日目)		オールウィン株式会社 （岐阜県関市迫間 630）
8:00～17:00	カイゼン実習(3)　※昼休憩 1 時間あり	
1 月 8 日（金）　第 4 セッション(2 日目)		
8:00～18:00	トヨタ生産方式　基礎(4)　※昼休憩 1 時間あり	

2 月 4 日（木）　第 5 セッション(1 日目)		西濃化成株式会社 （岐阜県揖斐郡池田町粕ヶ原 276）
8:00～17:00	カイゼン実習(4)　※昼休憩 1 時間あり	
2 月 5 日（金）　第 5 セッション(2 日目)		
8:00～18:00	トヨタ生産方式　基礎(5)　※昼休憩 1 時間あり	

3 月 1 日（月）　第 6 セッション(1 日目)		岐阜協立大学北方キャンパス （岐阜県大垣市北方町 5-50）
8:00～12:00	課題研究	
13:00～14:00	トヨタ生産方式　基礎（6）	
14:00～15:00	トヨタ生産方式　基礎（7）	
15:00～17:00	ケーススタディー（3）	
3 月 19 日（金）　第 6 セッション（２日目）		
8:00～12:00	課題研究	
13:00～15:00	ケーススタディー（3）	
15:00～17:00	ケーススタディー(4)卒業発表	

第 15 期「トヨタ生産方式とカイゼンリーダー養成プログラム」スケジュール

下呂コース

		実施場所
10 月 27 日（火）　第 1 セッション(1 日目)		岐阜協立大学北方キャンパス （岐阜県大垣市北方町 5-50）
9:00～12:00	チームビルディング	
13:00～18:00	トヨタ生産方式　基礎(1)	
10 月 29 日（木）　第 1 セッション(2 日目)		株式会社下呂魚介 （岐阜県下呂市森 979-28）
8:00～13:00	ケーススタディー(1)	
14:00～18:00	ケーススタディー(2)	

11 月 19 日（木）　第 2 セッション(1 日目)	株式会社下呂魚介 （岐阜県下呂市森 979-28）
8:00～17:00　カイゼン実習(1)　※昼休憩 1 時間あり	
11 月 20 日（金）　第 2 セッション(2 日目)	
8:00～18:00　トヨタ生産方式　基礎(2)　※昼休憩 1 時間あり	

12 月 17 日（木）　第 3 セッション(1 日目)	株式会社国華荘 （おごと温泉　びわ湖華街道） （滋賀県大津市雄琴 1 丁目 1-3）
8:00～17:00　カイゼン実習(2)　※昼休憩 1 時間あり	
12 月 18 日（金）　第 3 セッション(2 日目)	
8:00～18:00　トヨタ生産方式　基礎(3)　※昼休憩 1 時間あり	

1 月 21 日（木）　第 4 セッション(1 日目)	株式会社延楽 （宇奈月温泉　延楽） （富山県黒部市宇奈月温泉 347-1）
8:00～17:00　カイゼン実習(3)　※昼休憩 1 時間あり	
1 月 22 日（金）　第 4 セッション(2 日目)	
8:00～18:00　トヨタ生産方式　基礎(4)　※昼休憩 1 時間あり	

2 月 18 日（木）　第 5 セッション(1 日目)	株式会社国華荘 （おごと温泉　びわ湖華街道） （滋賀県大津市雄琴 1 丁目 1-3）
8:00～17:00　カイゼン実習(4)　※昼休憩 1 時間あり	
2 月 19 日（金）　第 5 セッション(2 日目)	
8:00～18:00　トヨタ生産方式　基礎(5)　※昼休憩 1 時間あり	

3 月 2 日（火）　第 6 セッション(1 日目)	株式会社水明館 （下呂温泉　水明館） （岐阜県下呂市幸田 1268）
8:00～12:00　課題研究	
13:00～14:00　トヨタ生産方式　基礎（6）	
14:00～15:00　トヨタ生産方式　基礎（7）	
15:00～17:00　ケーススタディー（3）	
3 月 19 日（金）　第 6 セッション（２日目）	岐阜協立大学北方キャンパス （岐阜県大垣市北方町 5-50）
8:00～12:00　課題研究	
13:00～15:00　ケーススタディー（3）	
15:00～17:00　ケーススタディー(4)卒業発表	

第 15 期「トヨタ生産方式とカイゼンリーダー養成プログラム」スケジュール

長野コース

実施場所

10 月 27 日（火）　第 1 セッション(1 日目)		岐阜協立大学北方キャンパス （岐阜県大垣市北方町 5-50）
9:00～12:00	チームビルディング	
13:00～18:00	トヨタ生産方式　基礎(1)	
10 月 30 日（金）　第 1 セッション(2 日目)		合資会社親湯温泉 （旅館すぎもと） （長野県松本市里山辺 451-7）
8:00～13:00	ケーススタディー(1)	
14:00～18:00	ケーススタディー(2)	

11 月 12 日（木）　第 2 セッション(1 日目)		合資会社親湯温泉 （旅館すぎもと） （長野県松本市里山辺 451-7）
8:00～17:00	カイゼン実習(1)　※昼休憩 1 時間あり	
11 月 13 日（金）　第 2 セッション(2 日目)		
8:00～18:00	トヨタ生産方式　基礎(2)　※昼休憩 1 時間あり	

12 月 23 日（水）　第 3 セッション(1 日目)		有限会社南條旅館 （別所温泉　南條旅館） （長野県上田市別所温泉 212）
8:00～17:00	カイゼン実習(2)　※昼休憩 1 時間あり	
12 月 24 日（木）　第 3 セッション(2 日目)		
8:00～18:00	トヨタ生産方式　基礎(3)　※昼休憩 1 時間あり	

1 月 14 日（木）　第 4 セッション(1 日目)		株式会社斎藤ホテル （鹿教湯温泉　斎藤ホテル） （長野県上田市鹿教湯温泉 1387）
8:00～17:00	カイゼン実習(3)　※昼休憩 1 時間あり	
1 月 15 日（金）　第 4 セッション(2 日目)		
8:00～18:00	トヨタ生産方式　基礎(4)　※昼休憩 1 時間あり	

2 月 11 日（木）　第 5 セッション(1 日目)		合資会社親湯温泉 （蓼科親湯温泉） （長野県茅野市北山蓼科 4035）
8:00～17:00	カイゼン実習(4)　※昼休憩 1 時間あり	
2 月 12 日（金）　第 5 セッション(2 日目)		
8:00～18:00	トヨタ生産方式　基礎(5)　※昼休憩 1 時間あり	

3 月 4 日（木）　第 6 セッション(1 日目)		有限会社南條旅館 （別所温泉　南條旅館） （長野県上田市別所温泉 212）
8:00～12:00	課題研究	
13:00～14:00	トヨタ生産方式　基礎（6）	
14:00～15:00	トヨタ生産方式　基礎（7）	
15:00～17:00	ケーススタディー（3）	
3 月 19 日（金）　第 6 セッション（２日目）		岐阜協立大学北方キャンパス （岐阜県大垣市北方町 5-50）
8:00～12:00	課題研究	
13:00～15:00	ケーススタディー（3）	
15:00～17:00	ケーススタディー(4)卒業発表	

＜トヨタ生産方式とカイゼンリーダー養成プログラム　カリキュラム＞

	内容	座学(時間H)	実習(時間H)	計	場所	備考
第1セッション 【産業社会とトヨタ生産方式】	開会式			―	大学	2日
	チームビルディング	3		3		
	トヨタ生産方式　基礎（1）	5		5		
	ケーススタディー（1）	5		5	指定実習企業	
	ケーススタディー（2）	4		4		
第1セッション　合計		17		17		
課題研究			10	10	自職場	
第２セッション 【ムダ発見とムダ排除の手法】	カイゼン実習（1）		8	8	指定実習企業	2日
	トヨタ生産方式　基礎（2）	9		9		
第2セッション　合計		9	8	17		
課題研究			10	10	自職場	
第３セッション 【ラインバランス】	カイゼン実習（2）		8	8	指定実習企業	2日
	トヨタ生産方式　基礎（3）	9		9		
第３セッション　合計		9	8	17		
課題研究			10	10	自職場	
第４セッション 【ジャストインタイムの実現】	カイゼン実習（3）		8	8	指定実習企業	2日
	トヨタ生産方式　基礎（4）	9		9		
第４セッション　合計		9	8	17		
課題研究			10	10	自職場	
第５セッション 【自動化と管理】	カイゼン実習（4）		8	8	指定実習企業	2日
	トヨタ生産方式　基礎（5）	9		9		
第5セッション　合計		9	8	17		
第６セッション 【卒業試験】	課題研究		8	8	大学	2日
	ケーススタディー（3）	4		4		
	トヨタ生産方式　基礎(6)	1		1		
	ケーススタディー（4）	2		2		
	トヨタ生産方式　基礎(7)	1		1		
	修了式					
第6セッション　合計		8	8	16		
第1セッション～第6セッション　＋　課題研究		61	80	141		

シラバス

科目名	チームビルディング	必修/選択	**必修**	担当者	山田直志

【 授業の目的 】
価値観や目標・目的の相違する個人が同一のカイゼン目標共有、スピード感をもってカイゼン目標を達成できるチーム力を醸成する。個人のモチベーションを高め、カイゼン・マインドを醸成する。

【 到達目標 】
個人のモチベーションの上げ方がわかる。
カイゼンマインド醸成のポイントがわかる。
カイゼン推進の際のチームワークとは何かがわかる。
この理解によって、各企業から集まった受講生が一つのカイゼンチームとして形成できる。
これらの結果、本講座でのカイゼン推進力を養う。

【授業の方法】
個人のモチベーションアップトレーニング
グループでのチームビルディング
授業は座学とグループワークを中心に進行

【授業計画】
※実践的な授業方法…①企業等、②双方向、③実務家教員・実務家、④実地

回数	授業内容の概要	授業時間	実践的な授業方法
1	本科目では、カイゼン目標に向かって行動を起こし、それを維持し続ける個人のカイゼン・マインド醸成・モチベーションアップを促進する。モチベーショントレーニングでは、自職場のカイゼン課題を受け入れ、認識できる力(課題発見能力の醸成)、飛躍的に変革を可能にする思考法や行動法(課題解決力の醸成)を養う。また、モチベーションにはカイゼン目標を達成しようとする考え方や気持ちの重要性のほかに、それを実現するための具体的な行動を決断できる考え方や気持ち、それを実際に継続的に行おうとする考え方や気持ちの重要性が含まれる。 モチベーションアップトレーニングでは、カイゼンリーダーとしてこうした考え方や気持ちの整理をし、実際にモチベーションを高めていくトレーニングを行う。またカイゼン活動はその多くを職場全体で、またはカイゼンチームが中心となって行う。個人のカイゼン目標到達のモチベーションアップやモチベーション維持継続の重要性ほかに、カイゼン活動を推進する際のチーム力を強固なものにしておくことも重要である。そのためには、個人のモチベーションアップ、モチベーション維持継続のほかにカイゼン活動をチームとして推進していく際のチームワーク、チームビルディングの重要性も本授業内で理解し、実践的なトレーニングを行う。 またカイゼンを推進する際には価値観が相違するチームメンバーとも、カイゼン目標やそのプロセスをスピーディーに共有して、カイゼン目標にいち早く到達することが求められる。それにはカイゼンチームを構成するチームメンバーの特性を受け入れ、尊重し、かつひとりひとりの考えを導き出し、それぞれの特性を生かしてチーム一丸となってカイゼン目標を達成することの重要性をトレーニングを通して習得し、「集団」から「カイゼン推進チーム」への変革を体験する。	3時間	② ③

【 受講上の留意点 】
トレーニング方法の事前説明を行う。簡易な運動があるため、服装等について事前に連絡する。

【課題とフィードバック】
チームワーク向上のため様々な課題をチームで取り組む。
価値観やカイゼンの認識が異なるメンバーが、課題を通じて目標・目的を行動で示すことをチームで体感することで、頭で理解することだけでなく、目標・目的に対して行動を伴ってチームで向かう姿勢になったかをチェックする。

【 成績評価 】
受講者の各課題発表に基づく評価、およびチェック表による評価を行う。
トレーニング中の貢献度（発言内容やトレーニングでの役割）50%
授業内に課した課題に対する理解度や意欲からの判断　50%

【 教科書・その他 】
特になし。事前にハンドアウトを配布する。

シラバス

科目名	トヨタ生産方式　基礎	必修/選択	**必修**	担当者	山田直志

【 授業の目的 】
トヨタ生産方式の基本的な知識や思想の習得を目的とする。

【 到達目標 】
日本の産業社会とトヨタ生産方式のミッションがわかる
ムダ発見の手法とムダ排除の手法がわかる
ラインバランスが理解できる
製造現場の無駄発見手法がわかる
ジャストインタイムの知識が身に付く

【授業の方法】
白板やプロジェクターを使用した講義形式、意見交換、グループワークなどの方法を使って授業を進行する。

【授業計画】
※実践的な授業方法…①企業等、②双方向、③実務家教員・実務家、④実地

回数	授業内容の概要	授業時間	実践的な授業方法
1	今日までの日本の産業社会とトヨタ生産方式のミッション 「私たちを取り巻く産業社会」、「企業経営と原価」、「トヨタ生産方式の成り立ち」、「トヨタ生産方式のミッション」、「ムダとは」について理解を深め、お互いに学んだことを確認しながら話し合うことで、より確実にトヨタ生産方式の基本を身に付けることを目指す。	5時間	② ③
2	ムダ発見の手法とムダ排除の手法 「現場主義とは」「ムダとは」「7つのムダと2大ムダ」「2大ムダの見方・取り方」を事例を交えて学習し、自職場でのムダの抽出を行ったうえで話し合いながら理解を深める。	9時間	② ③
3	ラインバランス(「売れ」に合わせた工程の組み方) 「商品とは」「サイクルタイム」「ラインバランスの取り方」「多台持ちと多工程持ちの考え方」について講義を受けた後、受講者各自の分野や職場におけるラインバランスを考え、グループで話し合いながら理解をより深めていく。	9時間	② ③
4	製造現場のムダ発見手法 「カイゼンの範囲と流れ－工程-作業-動作の考え方」について講義を受けた後、自職場に合わせた現場でのムダ発見に取り組み、グループでも話し合いながら現場のムダ発見手法についてより実践的な学びを目指す。	9時間	② ③
5	ジャストインタイムを実現するために 「ジャストインタイム」と「自働化と管理」について講義を受けた後、自職場でのジャストインタイムを実現するための方法を各自で考察し、グループで話し合うことで客観的な視点での理解を深められるようにする。	9時間	② ③
6	トヨタ生産方式基礎試験 第１回～第５回までの学習内容に関する理解度を確認するため試験を行う。	1時間	
7	『トヨタ生産方式　基礎』総括とカイゼン活動の進め方 『トヨタ生産方式　基礎』を中心に全カリキュラム(「ケーススタディー」「カイゼン実習」「チームビリディング」)を俯瞰、本プログラム修了後のカイゼンリーダーのあり方を考える。	1時間	③

【 受講上の留意点 】
指定書籍リストを事前に配布するので、各自購入し予習しておくこと。

【課題とフィードバック】
グループワークで座学の理解度をチェックする。
更に、最終筆記試験において理解度をチェックする。
理解度によっては追加の課題が提示され、到達目標を達成する。

【 成績評価 】
授業貢献度（発言内容やグループワークでの役割）をチェックシートを使い評価する　50%
筆記試験　50%

【 教科書・その他 】
指定書籍リストを事前に配布するので、各自購入し予習し持参すること。
その他、事前にハンドアウトを配布する。

シラバス

科目名	ケーススタディー	必修/選択	**必修**	担当者	山田直志

【 授業の目的 】
実務家講師が保有する豊富なカイゼン先行事例のうち受講者が所属する企業・職場を想定したカイゼン事例を講義し、「課題研究」中の受講者が所属する企業および職場で推進する自律的なカイゼン活動の目標及び計画立案、本講座修了時に開催をするカイゼン成果発表資料取りまとめのモデルとする。

【 到達目標 】
カイゼン先行事例（ケース）のカイゼン課題が認識できる。
先行事例（ケース）のカイゼン内容が認識できる。
ケースにおけるカイゼン成果の導き方が認識できる。
これらの結果、自職場におけるカイゼン課題の絞り込みと、カイゼン目標の設定およびカイゼンの計画立案ができる。

【授業の方法】
業種、業界を横断して、複数のカイゼン先行事例を講義する。カイゼン前の状況、カイゼン課題発見方法、カイゼンのポイント、カイゼン後の状況、カイゼン成果などを講義する。
自職場でのカイゼン課題を絞り込み、「課題研究」として自職場でカイゼン活動を行った中からモデル的なケースを紹介する。

【授業計画】
※実践的な授業方法…①企業等、②双方向、③実務家教員・実務家、④実地

回数	授業内容の概要	授業時間	実践的な授業方法
1	（導入・レクチャー） 講師陣が保有する豊富なカイゼン事例の中から受講者のカイゼン職場対象を想定し、複数の先行事例（5S事例、点のカイゼン、線のカイゼン、物の置き方のカイゼンなど）をテーマ別に講義します。講義の後、受講者は自職場に落とし込んだ場合の比較や検討を行うためのグループ討議と発表を行う。	5時間	② ③
2	（カイゼン目標の設定） ①受講者の自職場におけるカイゼン前の整理、②カイゼン後のあるべき姿の整理、③あるべき姿に達するための改善策の整理、④改善予測効果の整理を講師の指導を受けながら実施する。 整理した情報に基づき、自職場での「カイゼン目標」の立案を行う。 各項目の整理および立案した目標は、グループごとで話し合い情報を共有する。	4時間	② ③
3	（カイゼン成果の発表） 課題研究科目で行った自職場における自律的なカイゼン活動やカイゼン成果をカとりまとめて、プレゼン資料にまとめ、グループ内で情報を共有した後、全員の前でカイゼン成果発表を行う。	4時間	② ③
4	（カイゼン成果代表発表） カイゼン成果の中でも特に優秀と認められた課題研究の代表者発表を聞く。この代表者の成果に対して、受講者全員が自身の成果と照らし合わせて自己の評価を行う。	2時間	② ③

【 受講上の留意点 】
事前に自職場の課題を確認しておく。
自職場の期待に沿えるようなカイゼン課題の絞込みや、目標の立案をしてほしい。

【課題とフィードバック】
紹介されたモデル的なケースを参考に、自職場の現状と照らし合わせて課題研究に際し自職場をカイゼンする目標やカイゼン計画を立ててもらう。
その目標の立て方が「妥当か」、「実現可能か」、「レベルは最適か」についてチェックする。
カイゼン成果が出た後の、成果発表のチェックやフィードバックを受ける。

【 成績評価 】
成果発表の内容に基づく評価　70%
カイゼン目標の発表および自職場におけるカイゼン目標シートの内容で評価　30%

【 教科書・その他 】
特になし。事前にハンドアウトを配布する。

シラバス

科目名	カイゼン実習	必修/選択	**必修**	担当者	山田直志

【 授業の目的 】
「トヨタ生産方式」による現場カイゼン実践方法の習得を目的とする。

【 到達目標 】
カイゼン活動の基本（５S）がわかる。
サイクルタイムが計算できる。
点の改善ができる。
「流れ（業務プロセス）」がつくれる
モノの置き方によるカイゼンができる。
管理の重要性が理解できる。
管理レベルを上げられる。

【授業の方法】
連携する企業におけるカイゼン対象職場でのフィールドワーク。指定されたカイゼン対象職場において、毎回のテーマに基づいた実践的かつ具体的な講義のほか、受講生がグループ討議しながら自職場に置き換えたカイゼンのための課題抽出や、カイゼン方法の提案を行う。

【授業計画】
※実践的な授業方法…①企業等、②双方向、③実務家教員・実務家、④実地

回数	授業内容の概要	授業時間	実践的な授業方法
1	「カイゼン活動の基本(5S)の実践」と「ムダ発見の手法とムダ排除の手法」 カイゼン対象職場であらゆるムダを発見に挑戦して、５Sの実践、ムダの排除を実践し、カイゼン成果測定を行う。	8時間	① ② ③ ④
2	「サイクルタイムのつくり方」 サイクルタイムの考え方と計算方法を理解し、カイゼン対象職場及び自職場でサイクルタイムを自立的につくれるようにする。	8時間	① ② ③ ④
3	「点のカイゼンの手法」と「流れづくりと見える化のポイント」 カイゼン対象職場で点のカイゼンの実践、仕事の流れづくりと見える化を実践し、職場内でのレイアウト変更や作業変更なども実践的に行う。	8時間	① ② ③ ④
4	「モノの置き方カイゼンの手法」と「管理の重要性と実践」 カイゼン対象職場でカイゼン手法を用いてモノの置き方、管理方法のカイゼンを行う。	8時間	① ② ③ ④

【 受講上の留意点 】
カイゼン実習に必要な持ち物は事前にアナウンスする。またカイゼン実習現場でのフィールドワークとなるため、服装についても事前にアナウンスする。

【課題とフィードバック】
目標や課題に対してチームで動けているか、共有しているか、時間配分は妥当か、現状調査やカイゼン成果の調査は妥当か、カイゼン活動に積極的に協力しているかをチェックする。

【 成績評価 】
各回以下の方法で評価を行う。
実習中の参加態度をチェックシートを使い評価する　60%
成果測定の実施　30%
カイゼンシートの提出およびカイゼン成果の発表　10%

【 教科書・その他 】
特になし。事前に必要な持ち物はアナウンスがある。

シラバス

科目名	課題研究	必修/選択	必修	担当者	山田直志

【 授業の目的 】
受講者が所属する企業・職場内及び大学での自立的なカイゼン実践

【 到達目標 】
ケーススタディで立案したカイゼン計画が実行できる。
カイゼン成果を導くことができる。

【授業の方法】
自職場又は大学で週2時間カイゼン研究及びカイゼン実践のための実習を講師陣のサポートを受けながら実施する。
カイゼン進捗状況のレポート作成及びカイゼン成果発表資料を作成する。

【授業計画】
※実践的な授業方法…①企業等、②双方向、③実務家教員・実務家、④実地

回数	授業内容の概要	授業時間	実践的な授業方法
	課題研究では、ケーススタディー科目と連動し、受講者が所属する企業の職場をカイゼン対象職場として、当該カイゼン対象職場内での ①カイゼン課題発見 ②カイゼン課題解決 ③カイゼン成果取りまとめ を講師陣がサポートしながら行う。 カイゼン対象職場内でのカイゼン・マインドの醸成、カイゼン課題及びカイゼンビジョンの共有、カイゼン実践、カイゼン成果測定を実践し、第6セッションに向けたカイゼン成果発表資料をまとめる。 6ヶ月間の講座期間中の「トヨタ生産方式　基礎」や「カイゼン実習」をヒントに受講者が「ケーススタディー」科目内で立案した自職場における「カイゼン目標」に到達するよう、計画的でかつ自律的にカイゼン活動を推進し、カイゼン成果を捻出する。 また、各職場でのカイゼン活動推進の際には、各社・各職場内でのカイゼン活動目標アナウンス、カイゼン活動の目的や趣旨説明、カイゼン活動への協力依頼なども各受講者が中心となって推進、カイゼン活動及びカイゼン成果捻出までを一貫して自律的に進められるようにする。 さらに、各セッションごとに活動の進捗状況を報告し、活動の方向性や活動のスピード感、受講者の活動推進の際の行き詰まりなどにも対応し、6ヶ月後には速やかに各受講者が「カイゼン目標」に到達できるよう、各講師陣も親身になってサポートする。	48時間 （2時間×24週）	③ ④

【 受講上の留意点 】
トヨタ生産方式について正しく理解したうえで活動を進めていく。
独善的にならず職場の同僚と共有しながら導いていく。

【課題とフィードバック】
課題研究のスケジュールの中でカイゼン成果が確実に捻出できるかチェックする。
カイゼン対象職場の方々に目標や活動が受け入れられているかをチェックする。
正しいトヨタ生産方式の手法に則って進められているかチェックする。
最終セッションの自職場でのカイゼン成果資料の提出及び成果発表においては、ケーススタディで指示された項目に則って発表資料がまとめられているかチェックする。

【 成績評価 】
自職場でのカイゼン進捗状況報告レポート 10%
カイゼン成果資料作成および提出　10%
カイゼン目標の達成度および受講生の自職場における評価　80%

【 教科書・その他 】
特になし。事前に必要な持ちものはアナウンスがある。